

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
雲仙市 南串山町	京泊6地区(小竹木集落)	令和2年11月11日	平成31年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	63.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	58.7ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	9.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	4.3ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	25.9ha

2 対象地区の課題

- ・岡南部地区は、圃場整備が行われるが、その他の個所は、勾配が急で、圃場も狭く、道路も狭い。
- ・南向けで温かく、早作で反収量も多く収益も高いが、耕作条件が悪い。(猿ノ平、通路口等)
- ・圃場に接続する道路がなく他人の畑越の圃場もまだある。
- ・近年、借り手がなく荒地となった耕作放棄地が出てきている。
- ・広域農道側で、イノシシの被害が発生している。鳥害は、随所で見られている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・現在の岡南部の圃場整備が始まり農地の集約化は進んできている。
- ・地区内には後継者も多く、規模拡大の意向も多いことから集約化は可能であるが、耕作条件が悪い圃場が多く基盤整備を推進していく必要がある。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
個人 法人	24経営体 1経営体	—	215.2ha	—	241.1a		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

- ・貸付け等の意向が確認された農地は、95筆、38,295㎡となっている。

農地中間管理機構の活用方針

- ・農地の貸し借りについては、農地中間管理機構を活用し、今後の中心経営体となる農家へ貸付を推進していく。
- ・中心経営体が、病気や怪我等により営農の継続が困難になった場合は、農地中間管理機構を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えが行えるよう中心経営体への貸し付けを進めていく。

基盤整備への取組方針

- ・現在実施中の岡南部地区の圃場整備の早期完成を目指す。
- ・区域外となった箇所や、他の圃場については、急勾配な地形で、耕作条件が悪いため、小規模な補助事業等を活用し基盤整備を推進し、営農条件の改善を図る。

鳥獣被害防止対策の取組方針

- ・イノシシの被害防止については、防護柵周辺の除草等の適正な管理を地域ぐるみで行っていく。
- ・イノシシ以外の小動物(キツネ、たぬき、穴グマ等)に対する対策も講じていく必要がある。
- ・ヒヨドリ、カラス等の鳥害対策として、網等で各自対策しているが、地域でまとまった対策を講じていく必要がある。